



エコパートナーシップうじたわら

うじたわらの木くん

～茶文化の源 水・緑・生命の環を育む和みのまら～

発行日：2019年6月2日（第76号）

編集・発行：エコパートナーシップうじたわら広報部会

事務局 TEL（88）6639 FAX（88）3231

2019年度総会を開催します

6月9日（日）午後2時

宇治田原町総合文化センター研修室1

エコパートナーシップうじたわらは、住民・事業者・行政が協働で「宇治田原町環境保全計画」を推進するため、平成16年に設立された団体です。3つの部会が環境学習やエコクッキング、会報誌の発行などの活動を行っています。

このたび総会を開催し、昨年度の活動報告や今年度の事業計画について審議する他、講演会を開催します。どなたでもご参加いただけますので、お気軽にお越しください。

参加者には記念品としてエコパートナーが「夏原グラント」助成事業で作成した冊子「宇治田原町の自然環境」を贈呈します。

- ・夏原グラント助成事業「協働によるふるさとの自然環境保全のための基礎資料調査」報告会
講演「宇治田原町の自然環境」阪本伊三雄（エコパートナーシップうじたわら副会長）
報告「夏原グラント助成事業実施報告」（事務局）

「宇治田原町の自然環境」を作成

エコパートナーでは、平成28年度～30年度にかけて、公益財団法人平和堂財団が創設した「夏原グラント」から助成金の交付を受けました。



助成金事業として、町内の野生生物や地質などの調査を行い、今後の生物多様性保全のための基礎資料作りに取り組む「協働によるふるさとの自然環境保全のための基礎資料調査」を実施しました。

事業の成果物として冊子「宇治田原町の自然環境」を作成。5月10日には芦原会長と阪本副会長が町長に事業終了と冊子の発行について報告を行いました。

冊子では、2004年に発行された「宇治田原町レッドデータブック」を下敷きに、その後の町内の自然環境の変化や特定外来生物など、近年注目されている課題、調査活動で確認された野生生物や地質、それらにかかわる町内の歴史や文化についてもふれています。

冊子は会員に配布する他、ホームページ（宇治田原町HP）にも掲載します。

ご希望の方には1冊500円で販売します。

温暖化への適応

地球温暖化が進んでいるといわれて久しいが、身近なところでも、近年の夏の猛暑や相次ぐ大型台風の襲来、ゲリラ豪雨の発生など、誰もが「なにかおかしい」と感じている。

地域の気候が変化すると、自然環境だけでなく、農林漁業など、我々の生活を支える産業にも大きな影響を与える。作物の生育や収量、品質に影響すると、従来の方法では維持できなくなるおそれもある。

そこで、最近では温暖化防止に向けて、温室効果ガスの削減を訴えると同時に、「適応」が注目されるようになっていく。

温室効果ガスの削減など、温暖化の進行を緩和することが大切だが、リスクを避けられない事態になれば、それに対する「適応」が必要となってくる。

農業では同じ作物でも、高温に耐性のある品種に切り替えたり、作物の種類を変えてしまうということがすでに実施されている。つまり、温暖化の進行を逆に「チャンス」ととらえてポジティブに対応するというもの。

人間の英知を駆使し、温暖化の進行に合わせた生活スタイルを考え、温暖化の進行に適応する概念だが、ある種温暖化の進行を容認するあきらめもあのかと考えると少しさびしい。

次世代の人々にとって、我々は温暖化を進行させた世代と映るかもしれない。しかし、こんな時代だからこそ、正しい温暖化防止を啓発する義務がある。そうした観点からも、エコパートナーの役割は小さくない。(芦原 昇)

宇治田原町環境保全計画の一部見直し

町内での事業や生活で発生する温室効果ガスの削減や、自然環境、生活環境の保全を図ることを目的として、宇治田原町では「環境保全計画」を策定しています。

現在の保全計画は平成25年度に策定された第2期計画で、10年間の計画期間の間に温室効果ガス削減などの数値目標を設定しています。

エコパートナーはこの保全計画を推進し、進行管理を行うため活動しています。

保全計画の計画期間は10年間(第2期は～平成35(令和5)年度)ですが、5年が経過した平成30年度に進捗状況や情勢の変化を反映し、一部見直しを行いました。

計画の主な内容は変更していませんが、計画期間中に達成すべき目標として設定された数値目標を修正しています。

数値目標を修正した理由は、「パリ協定」の採択を受けた国の温室効果ガス削減目標が設定され、それに合わせる形で公共分(宇治田原町の事業に関連するもの)の削減目標が変更され(宇治田原町地球温暖化防止実行計画(事務事業編))、全体として「パリ協定」を受けた国の目標「温室効果がガス排出量を2030年で2013年比26%削減」にあわせることにしたものです。

必ずしも容易に達成できる項目ばかりではありませんが、これからの地球環境を守るため、温室効果ガス排出量の削減を目指すため、努力していく必要があります。

一部見直し後の内容については、計画策定時のような冊子は作成せず、変更点について記載したデータを町HPで公開されています。(「町HPトップ」⇒「環境衛生」⇒「環境保全」⇒「環境保全計画」)

エコパートナーシップうじたわら賛助会員

濱田プレス工藝株式会社、宇治田原工業団地管理組合、環境サービス株式会社、株式会社宇治田原製茶場、宇治田原町区長会、京都やましる農業協同組合宇治田原町支店、宇治田原町森林組合、株式会社馬場義電気、株式会社播磨園製茶、有限会社富山資源開発、宇治田原町商工会、宇治田原新聞サービス本舗株式会社、米田造園土木株式会社、宇治田原町 (敬称略・順不同)

お問い合わせ先：エコパートナーシップうじたわら事務局 (宇治田原町建設事業部建設環境課内)

〒610-0289 京都府綴喜郡宇治田原町大字荒木小字西出 10

TEL 0774-88-6639 FAX 0774-88-3231 Eメール: junkan@town.ujitawara.lg.jp

会報のバックナンバーをご覧ください

宇治田原町役場ホームページ「トップ」⇒「環境衛生」⇒「エコパートナーシップうじたわら」

エコパートナーシップうじたわら facebook ページ公開中



茶文化の源 水・緑・生命の環を育む和みのまち 宇治田原